



平成25年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年5月10日

上場会社名 株式会社松家ホールディングス 上場取引所 名  
 コード番号 1413 URL <http://www.hinokiya-holdings.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 近藤 昭  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 島田 幸雄 (TEL) 0480-26-1118  
 四半期報告書提出予定日 平成25年5月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第1四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第1四半期	10,122	6.1	△183	—	△122	—	64	△64.4
24年12月期第1四半期	9,542	27.4	274	△46.9	340	△38.1	181	△31.6

(注) 包括利益 25年12月期第1四半期 83百万円(△59.9%) 24年12月期第1四半期 207百万円(△29.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第1四半期	4.76	—
24年12月期第1四半期	13.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第1四半期	28,325	8,556	28.1
24年12月期	25,413	8,372	32.4

(参考) 自己資本 25年12月期第1四半期 7,963百万円 24年12月期 8,238百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	10.00	—	26.00	36.00
25年12月期	—	—	—	—	—
25年12月期(予想)	—	20.00	—	26.00	46.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	24,000	18.4	700	△10.4	790	△13.4	390	△8.5	28.73
通期	60,000	15.1	4,900	15.6	5,000	10.8	2,900	18.1	213.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名)、除外 1社(社名) 株式会社松家不動産千葉

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」の「(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 当第1四半期連結会計期間より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りと区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項に関する事項)」の「(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年12月期1Q	13,575,000株	24年12月期	13,575,000株
-----------	-------------	---------	-------------

② 期末自己株式数

25年12月期1Q	148株	24年12月期	148株
-----------	------	---------	------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年12月期1Q	13,574,852株	24年12月期1Q	13,574,924株
-----------	-------------	-----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権による経済・金融政策に対する期待感から円安が進行し、株価が上昇するなど景気回復への明るい兆しがみられました。

しかしながら世界景気の下振れ懸念や今後の雇用・所得環境によっては国内景気が下押しされるリスクも存在しており、依然として先行き不透明な状況にあります。

住宅業界におきましては、住宅取得支援策や低金利を背景に当社グループの注文住宅事業に関連の深い持家の新設住宅着工戸数は7ヶ月連続で前年同月を上回っており底堅く推移しました。

このような状況のもとで、当社グループ経営理念「最高品質と最低価格で社会に貢献」に基づき各事業セグメントにおいて、お客様のニーズにあった新商品開発と展示場作り、住宅関連サービスに関する問題解決のための提案等に取り組み売上拡大に努めました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は101億22百万円（前年同期比6.1%増）、営業損失は1億83百万円（前年同期は営業利益2億74百万円）、経常損失は1億22百万円（前年同期は経常利益3億40百万円）、四半期純利益は64百万円（前年同期比64.4%減）となりました。

セグメントごとの業績（セグメント間の取引消去前）は次のとおりであります。

#### ① 注文住宅事業

注文住宅事業におきましては、当社グループの主力事業である注文住宅分野の全国ベースの持家住宅着工数は71千戸（前年同期比7.4%増）となりました。

このような状況のもとで、当第1四半期連結累計期間における完成引き渡し棟数及び売上高は前年同期に比べ増加したものの、展示場の新規出展に伴う諸費用の増加等により営業損失となりました。一方、年初からテレビCMや各種見学会（完成現場・断熱構造・施主宅訪問）を実施し、1月に「プレミアムキャンペーン」、3月に「選べるガス得キャンペーン」を実施するなど受注拡大に取り組みました。

この結果、受注棟数606棟（前年同期比11.0%増）、受注高112億7百万円（前年同期比10.9%増）、売上棟数326棟（前年同期比5.5%増）、売上高は64億88百万円（前年同期比1.4%増）、セグメント損失（営業損失）は2億3百万円（前年同期は営業利益82百万円）となりました。

#### ② 不動産事業

不動産事業におきましては、本年1月より子会社3社を合併し、新商品ベルハーブシリーズの販売を開始するなど、東京エリアを中心に販売は順調に推移しました。しかしながら各エリアにおいて競争が激化し、販売価格が低下していることから利益面においては、前年同期を下回りました。

この結果、売上棟数30棟（前年同期比14.3%減）、売上高は14億39百万円（前年同期比5.2%増）、セグメント損失（営業損失）は1億31百万円（前年同期比109.7%増）となりました。

#### ③ 断熱材事業

断熱材事業におきましては、消費者の省エネ、エコに対する意識の高まりを受け、徐々に発泡断熱材の認知度が上昇していること、昨年より積極的に営業エリアの拡大に取り組んだことによって、施工棟数は前年同期に比べ大幅に増加しました。また、さらなる需要増に対応するため営業エリアの拡大と自社施工体制の強化に積極的に取り組んでおります。

この結果、売上高は18億55百万円（前年同期比59.2%増）、セグメント利益（営業利益）は68百万円（前年同期比24.2%増）となりました。

#### ④ 不動産賃貸事業

不動産賃貸事業におきましては、当社が所有するテナントビル「クッキープラザ」の収益力向上に向けたテナントの誘致に取り組んでおります。

この結果、売上高は87百万円（前年同期比9.9%減）、セグメント利益（営業利益）は18百万円（前年同期比52.6%増）となりました。

#### ⑤ その他

その他におきましては、持株会社としての事業、戸建賃貸住宅事業、リフォーム・外構事業等が含まれており、これらの事業の売上が順調に推移しました。

この結果、売上高は15億68百万円（前年同期比3.5%増）、セグメント利益（営業利益）は9億3百万円（前年同期比6.0%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(総資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は283億25百万円となり、前連結会計年度末に比べ29億12百万円の増加となりました。

流動資産は188億9百万円となり、前連結会計年度末に比べ24億88百万円の増加となりました。この増加の主な要因は、現金預金の10億42百万円の増加、不動産事業の販売用不動産の7億49百万円の増加、仕掛工事件数増による未成工事支出金の8億19百万円の増加等によるものであります。

固定資産は95億16百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億23百万円の増加となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は197億69百万円となり、前連結会計年度末に比べ27億28百万円の増加となりました。

流動負債は193億45百万円となり、前連結会計年度末に比べ27億83百万円の増加となりました。この増加の主な要因は、短期借入金の57億40百万円の増加、受注契約件数増及び仕掛工事件数増による未成工事受入金の14億71百万円の増加と、一方で工事未払金の31億77百万円の減少、1年内返済予定の長期借入金の2億41百万円の減少、未払法人税等の10億50百万円の減少等によるものであります。

固定負債は4億23百万円となり、前連結会計年度末に比べ54百万円の減少となりました。この減少の主な要因は、長期借入金の73百万円の減少等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は85億56百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億83百万円の増加となりました。

この増加の主な要因は、少数株主持分の4億58百万円の増加と、一方で四半期純利益の64百万円と配当金3億52百万円とによる利益剰余金の2億88百万円の減少等によるものであります。

(自己資本比率)

当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は28.1%（前連結会計年度比4.3ポイント減）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年12月期の連結業績予想につきましては、現時点で平成25年2月8日に公表した計画から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結累計期間において、当社の重要な連結子会社でありました株式会社松家不動産千葉は平成25年1月1日を合併期日とする株式会社松家不動産東京との吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更が四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	3,904,494	4,946,692
受取手形及び売掛金	1,181,203	1,117,889
完成工事未収入金	181,883	162,322
営業未収入金	14,495	12,768
販売用不動産	7,775,482	8,524,674
未成工事支出金	1,753,484	2,573,419
材料貯蔵品	187,768	165,413
その他	1,329,986	1,310,017
貸倒引当金	△7,943	△3,882
流動資産合計	16,320,855	18,809,316
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	4,025,400	4,205,604
土地	3,128,616	3,139,623
その他(純額)	619,604	832,929
有形固定資産合計	7,773,621	8,178,157
無形固定資産		
のれん	416,943	364,084
その他	121,382	117,740
無形固定資産合計	538,325	481,824
投資その他の資産		
その他	827,611	905,504
貸倒引当金	△46,655	△48,903
投資その他の資産合計	780,956	856,600
固定資産合計	9,092,902	9,516,581
資産合計	25,413,758	28,325,897

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
負債の部		
流動負債		
工事未払金	6,298,129	3,120,610
買掛金	1,342,539	1,172,087
短期借入金	1,000,000	6,740,000
1年内返済予定の長期借入金	1,228,868	987,493
未払法人税等	1,113,191	62,882
未成工事受入金	3,760,502	5,231,949
賞与引当金	100,076	257,968
その他	1,719,365	1,772,889
流動負債合計	16,562,673	19,345,880
固定負債		
長期借入金	73,352	—
その他	404,740	423,306
固定負債合計	478,092	423,306
負債合計	17,040,765	19,769,186
純資産の部		
株主資本		
資本金	389,900	389,900
資本剰余金	339,900	339,900
利益剰余金	7,489,115	7,200,759
自己株式	△117	△117
株主資本合計	8,218,797	7,930,442
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19,762	33,329
その他の包括利益累計額合計	19,762	33,329
少数株主持分	134,432	592,939
純資産合計	8,372,992	8,556,710
負債純資産合計	25,413,758	28,325,897

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)
売上高	9,542,418	10,122,125
売上原価	6,898,265	7,613,978
売上総利益	2,644,152	2,508,146
販売費及び一般管理費	2,369,701	2,691,433
営業利益又は営業損失(△)	274,451	△183,286
営業外収益		
受取利息	200	55
紹介手数料収入	12,893	21,797
保険事務手数料	29,606	34,035
アフター工事収入	8,950	8,785
その他	29,022	13,185
営業外収益合計	80,673	77,860
営業外費用		
支払利息	10,433	10,428
その他	4,624	7,085
営業外費用合計	15,058	17,514
経常利益又は経常損失(△)	340,066	△122,940
特別利益		
固定資産売却益	142,920	—
持分変動利益	—	303,736
特別利益合計	142,920	303,736
特別損失		
固定資産除売却損	3,291	16,336
減損損失	124,635	—
その他	28,596	—
特別損失合計	156,523	16,336
税金等調整前四半期純利益	326,463	164,459
法人税、住民税及び事業税	199,260	111,752
法人税等調整額	△59,471	△16,830
法人税等合計	139,788	94,921
少数株主損益調整前四半期純利益	186,674	69,537
少数株主利益	5,002	4,946
四半期純利益	181,671	64,590



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	186,674	69,537
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	20,824	13,566
その他の包括利益合計	20,824	13,566
四半期包括利益	207,499	83,103
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	202,496	78,157
少数株主に係る四半期包括利益	5,002	4,946

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書計上 額(注)3
	注文住宅 事業	不動産 事業	断熱材 事業	不動産 賃貸事業	計			
売上高								
外部顧客への売上高	6,369,794	1,367,471	1,035,384	75,839	8,848,489	693,928	—	9,542,418
セグメント間の内部売上 高又は振替高	30,761	—	129,839	21,108	181,709	821,228	△1,002,938	—
計	6,400,556	1,367,471	1,165,223	96,947	9,030,199	1,515,157	△1,002,938	9,542,418
セグメント利益又は損失 (△)	82,485	△62,862	55,469	12,344	87,436	852,418	△665,403	274,451

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント及びその他の収益を稼得する事業活動であり、戸建賃貸住宅事業、リフォーム事業、FC事業及び持株会社の取引を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△665,403千円には、セグメント間取引消去△524,257千円、各報告セグメントに配賦していない全社費用△141,146千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書計上 額(注)3
	注文住宅 事業	不動産 事業	断熱材 事業	不動産 賃貸事業	計			
売上高								
外部顧客への売上高	6,354,295	1,439,214	1,673,165	68,583	9,535,257	586,867	—	10,122,125
セグメント間の内部売上 高又は振替高	133,847	—	182,069	18,800	334,716	981,467	△1,316,184	—
計	6,488,142	1,439,214	1,855,234	87,383	9,869,974	1,568,334	△1,316,184	10,122,125
セグメント利益又は損失 (△)	△203,267	△131,804	68,886	18,843	△247,342	903,719	△839,664	△183,286

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント及びその他の収益を稼得する事業活動であり、戸建賃貸住宅事業、リフォーム事業及びFC事業及び持株会社の取引を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△839,664千円には、セグメント間取引消去△654,524千円、各報告セグメントに配賦していない全社費用△185,140千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。